

遮熱パネルのつくりかた

～作業工程～

必要な道具

カッター、メジャー、鉛筆 or マジック、定規

作業の時にメモを取りながら自分でわかりやすい設計図を完成させよう！

[1] 発泡スチロール板を切る

遮熱パネルを作る窓枠の寸法を測ってパネルの大きさを決める。
それぞれの部材の大きさを決めて、カットする。
※高さ方向は最後に微調整を行うので少し大きいくらいで作成する。



[2] 発泡スチロール板にアルミ遮熱シートを貼る

決めた遮熱パネルの大きさに合わせてアルミ遮熱シートを切る。
発泡スチロール板にスプレーのりを吹き、両面テープも併用ししっかりとアルミ遮熱シートに一枚ずつ発泡スチロール板を貼っていく。
周囲のはみ出たアルミ遮熱シートをカットする。
※スプレーのりは粘着性が高いので人に向けて吹かないようにする。

[Point①]
発泡スチロール板の角までしっかりとスプレーのりを吹く。



[3] 発泡スチロール板に不織布を貼る

遮熱パネルの大きさから少しはみ出るように不織布を切る（周囲プラス5cm程度）。
発泡スチロール板にスプレーのりを吹く。
不織布がシワにならないように片側から貼っていく。
周囲のはみ出た不織布をカットする。

[Point②]
一人だとキレイに貼れないので2,3人で一緒にやる。
キレイに貼れると気持ちいい！



[4] 組み上がった遮熱パネルを窓にはめる

遮熱パネルを窓枠にはめてみる。
窓枠で当たっている部分を確認して、切る。
ぴったりはまるまで調整する。
※少しきついくらいだと外れにくいのでちょうどよい。



[5] 組み上がった遮熱パネル周囲に気密テープを貼る

アルミ遮熱シート、不織布が剥がれないように気密テープを貼る。
シワにならないように片面から丁寧に貼っていく。



[6] 再度、組み上がった遮熱パネルを窓にはめて完成！

他の参加者が作った遮熱パネルと合わせて窓枠にはめていく。
完成！

